

あなたの時間を病院に下さい 介護のお仕事を手伝ってくださる方を募集します

時給 960円

- ★ 初めての方でもしっかり指導しますので安心です
- ★ 無資格の方でも大丈夫です
- ★ 介護の体験は、家庭生活のあらゆる場面で役に立ちます
- ★ 1週間のうち、1日、2時間からでもOK
- ★ 定年退職した方も、もう一度、体力に合わせて活躍できます



お食事のお茶配りと配膳

お茶配りと言っても患者さんの状態に合わせてトロミを付けたりしていただきます

入浴介助のサブとして

入浴介助をする介護者のお手伝いをお願いします

病室からリハ室への送迎

車いすを押して病室からリハ室へ、リハ室から病室へ、患者さんをお連れしていただきます

ベッド周りの清掃

シーツ交換や整理整頓を手伝っていただきます



介護体験フェア

介護で働きたいけど、私にできるかしら・・・

おじいちゃん、おばあちゃんこの頃、心配。介護って、どうやるのかしら・・・

木村病院では、退院のとき介護に不安なご家族に介護の指導をしています。

在宅で介護している方、介護に興味がある方で介護体験を希望する方は、職員に声を掛けください。



ほっとニュース

発行：社会医療法人 一成会 木村病院 / 企画広報室

社会医療法人 一成会 理念



新年あけましておめでとうございます

社会医療法人一成会理事長・木村病院院長 木村 厚

新年あけましておめでとうございます。

昨年、木村病院では2月に電子カルテシステムを導入しました。当院のような小規模な病院では、あまり採用しているところはありませんが、医療の質の向上と効率化を目指して思い切って導入しました。当初は不慣れなこともあって、外来ではお待たせするようなこともありました。今は順調に進んでいます。

また、11月30日、12月1日の2日間、日本医療機能評価機構の5回目の更新受審を受けました。これも、小規模な病院では、受審率は低いのですが、当院では、1998年に認定を受けた後、5年ごとに更新受審を受け、5回目の更新となりました。更新の結果は、審査ののち今年の2月に発表される予定です。

さて、今年は、2年ごとの診療報酬改定、3年ごとの介護報酬が同時に改定される年です。診療報酬は、医療に従事しているすべての技術者・事務職員の給与になり、また、薬剤費、注射器等の衛生材料費、CTやレントゲンの機械のような医療機器、職員採用のための費用等病院運営に必要なものになります。介護報酬も介護にかかわる事業者を支払われるものです。法人すべての収入はこれらの報酬で決められた額になります。人数の基準、受取る報酬も決められているため、なかなか生産性の向上には結び付きません。

医療や介護は、生活していくうえで必要・重要なものなので、国が様々な事を決めています。ヨーロッパの国では、すべて税金で賄っているところもあれば、アメリカのように自分で保険に加入して多額の医療費負担が必要な国もあります。日本では、高齢社会となり医療費や介護費が国の財政

を圧迫していると言われてはいますが、医療や介護に勤める事で生計を賄っている人も大勢いて地域の一大産業と言えます。医療や介護は全ての人に関係するものです。普段から、医療や介護の在り方を自分のこととして考え、声を上げていく必要があると考えます。

最後になりましたが、2018年が、皆様にとって実りある充実した年になるようにお祈りします。





訪問看護ステーションみどり わかば営業所 訪問看護師

訪問看護ステーション20周年 デイサービスセンター10周年

地域サービス事業部副事業部長 訪問看護ステーション統括管理者 菅谷真理

訪問看護ステーションみどりは、今年2月で開所21年を迎えます。先代の理事長が町屋に診療所を開き、段階的に発展し、現在は『社会医療法人社団 一成会 木村病院』となり、70年以上にわたって地域医療への貢献を行ってきました。

その中で「切れ目のない医療と福祉」を提供していく為、1996年2月に木村病院在宅医療室がスタート。1997年2月に“訪問看護ステーションみどり”として開所しました。その後、1998年11月に訪問看護ステーションわかば、2001年10月に訪問看護ステーションみずき※を開所しました。現在は、南千住にある「訪問看護ステーションわかば」を「訪問看護ステーションみどり」の営業所（サテライト）としています。訪問看護ステーション全体では、看護師13名、理学療法士3名、事務2名のスタッフで「快適な在宅療養」を実現するために、24時間緊急時体制で訪問看護を提供しています。

そのため、看護師は「受け持ち制」ではなく看護師全員が利用者さん全員に対応する「チームナーシング」を行っています。毎朝のカンファレンスで、利用者さんの状態報告や検討を行い、情報共有する事で、最良の看護が提供できるようにしています。

2014年10月に、いち早く、訪問看護アプリシステムを導入しました。スタッフ1人1台、セキュリティーで守られたタブレットを持ち歩き、利用者さんの情報共有がタイムリーでスムーズになりました。

訪問の対象は、利用者さんのニーズに応え、年齢を問わず、小児、高齢者、難病、精神疾患等、介護保険・医療保険利用、在宅での看取りも受けています。また、グループホームやケアハウスへの訪問も行なっています。

2018年1月現在、利用している方は、みどり73人、わかば45人で合計118人。連携医療機関40病医院で医師50名、居宅介護支援事業所35ヶ所になります。

「みどり」でも居宅介護支援事業所を併設していて、看護師5名はケアマネージャーの資格を持ち、訪問看護業務とのバランスを考え数件ずつ受け持っています。もともと、介護保険が始まる前から、訪問看護師はケアマネジメント力が必要で、実際に居宅で情報を得やすい立場でもあり、ケアプランや看護計画の作成にも生かされています。

良い職場環境がスタッフの笑顔を作り、モチベーションの維持にもつながり、よって良い看護が提供できると考えます。ステーションの和やかな雰囲気の中で、利用者さんを想い、利用者さんがより良い状況で過ごす為にはどうすればよいかなど、朝のミーティングや、昼食を摂りながら話し合う毎日です。

スタッフは、妻、母、娘、嫁、PTAなど日々何役もこなしながら、勤務中は訪問に加え、調整、書類作成、他様々な業務をこなしています。チームワーク抜群のスタッフに恵まれた訪問看護ステーションみどりは、これからもますます地域医療、福祉に貢献していきます。

利用者さんの最年少	2歳
利用者さんの最高齢	106歳
開所からの利用者数	約1000人

※2006年みずきはみどりに統合しました。



訪問看護ステーションみどり 訪問看護師

訪問看護ステーションみどりの所長となって

訪問看護ステーションみどり 所長 高木芳枝

私は、2004年9月に非常勤として訪問看護ステーションわかばに入職しました。実際に訪問看護に携わるのは初めての事で、先輩方や利用者さんに教えを頂きながら、子育てとの両立に毎日必死の思いで過ごしていたように思います。その後、常勤となり、2006年11月にはステーションみどりへ。2016年6月に所長の大役を引き受けさせて頂きました。

今は、長年一緒に働き苦楽を共にしている仲間がいることや、仕事を理解し協力してくれる家族、自転車で廻っていると走馬灯のように浮かぶ利用者さんやそのご家族との思い出が、私の仕事の原動力となっています。また、木村病院の後方支援は勿論の事、他の医療機関の主治医やケアマネージャー、サービス事業者等々大勢の方々とも顔の見える連携をさせて頂き、大きな力となっています。本当に感謝の思いで一杯です。

これからも、「誰もがその人らしく、最期まで望んだ生活を支援」できるように、日々仕事に邁進していきたいと思っています。



デイサービスセンター10周年が過ぎて

デイサービスセンター管理者 清水志保子

『デイサービスセンターかえで』は開所から、早いもので10年という月日が経ちました。利用者さん、ご家族、ケアマネージャー、そして地域の方々に支えて頂いた10年と感じております。開所当時、荒川区内において、365日・朝食から夕食までのサービス・宿泊サービスなど柔軟に対応するデイサービスは『かえで』が初めてでした。



デイサービスセンターれんげの外観です

また、高齢者の福祉施設では、バリアフリーが当然でしたが、『かえで』は段差が至る所にある民家をそのままデイサービスとして活用していました。「その人の残されている力を最大限発揮していただく」そのことに私はとても感動し、協力したい介護の仕事と感じました。10年分のご利用者さんとの出会いは、かけがえのない私の宝物です。これからもご利用者の笑顔に感謝し、そして大切に、地域に求められるデイサービスでありたいと思っています。

2011年 お花見



タブレットで情報共有しています